

# 岩手教区報

第323号  
 立教182年11月1日  
 天理教岩手教務支庁  
 盛岡市馬場町3番40号  
 TEL 019-622-7962  
 FAX 019-623-9597



主事・祭事部長

鈴木眞理

## 葬儀の充実を目指して

過日、齋員7人による葬儀を勤める機会がありました。本来お道の葬儀は、9人で勤めるのが正式です。その内訳は、齋主、副齋主(献饌長)、祓主(祓詞奏上)、大麻(祓師とも言い大麻行事を行う)、後取(扈者の役)2人、典礼(指図方の役)、装束師(贊者の役)2人となります。

しかし、私たちが実際に葬儀を勤める場合、ほとんどが齋員2人、或いは3人で勤めることが多いと思います。また、場合によっては1人で勤めること

もあるでしょう。そうした中、祓主と大麻を省いた7人で勤めるという事は、私自身初めての経験でもあり、心して勤めさせて頂きました。

葬儀を勤める場合、祭儀の流れを把握する事は勿論ですが、齋員同士の間合いや呼吸も大切になってきます。書物を読むだけでは理解出来ない事を習得する上からも、教区祭事部では、基本作法から始まり、斎服(重服、浄衣)の着付けや、みたまうつし、告別式など、祭儀全般の勉強会を重ねて参りました。

また、葬儀に欠かせない楽人(雅楽演奏者)の底辺拡大も重要な案件であります。

数年前、祭事部主催の「雅楽初心者講習会」で、雅楽の楽器に触れたことすらない少年会員が、親の勧めで初めて参加してくれたことがありました。その少年会員は、講習会に参加したことで、雅楽に大変興味を持ち、天理教校学園高校に進学して雅楽部に入り、研鑽に励んでくれています。昨年、祖父の葬儀の楽人をつとめ、素晴らしい奏楽をしてくれました。

現在、教区管内の葬儀で三管の楽人を揃えることがなかなか容易ではない状況にあります。その上からも、楽人の発掘と育成が急務と感じています。

今月10日に開催する「雅楽初心者講習会」は、初心者を対象にしていますが、それだけに留まらず、経験者のスキルアップにも活用して下さいれば幸いです。管毎に経験豊富な講師が基本からしっかりと指導して下さいますので、多数のご参加をお待ちしています。

信仰随想  
**法楽**  
 前岩手教区長  
**中田俊次**

### あいつは好かん、こいつはいかん

先日、某朝刊紙の広告欄一頁を使い「嫌いな人をほめてみよう」という大きな見出しに、「嫌いな人のいいところを見つけてみませんか」という提言がされていた。それほどに、現代社会の中で対人関係の苦悩は深刻だと言えよう。

確かに、人には相性の良い人、気の合う人、親しくなりやすい人があれば、反対に顔を見るのもいや、声を聞いただけで虫唾が走るといふ人もいるようだ。しかし、私達は日々多くの人達と出会い、触れ合い、たすけ合う中で生きて行く現実には必ずしも気に入った人ばかりではない。寧ろ気に合わぬ人も上手く合わせて行かねばならない事が多いとも言える。その時、一番厄介なのが感情だとすれば、怒りや憎しみ、恨みや嫉妬といった感情のものをさしを一寸の間、放してみても

うだろう。そして相手を嫌う視線を変え、気の毒な人だなあと、寧ろ相手を思いやる心を養い、苦手な人も難儀な事柄も喜びとして受けとめる受容能力を高めるなら、神様は我々の徳分の器をより大きくして、たとえ人間関係の苦悩があっても解決に導いて下さる事であろう。

教えの中に、「合うの合わないの言うようでは道を捨てたも同然」或いは又、「あいつは好かん、こいつはいかんと言うのも思うも同じ理」と諭されている。人と人との出会いや関係は絆、縁であり、つながりでもある。

徳川将軍家の剣術指南役を務めた柳生家の家訓に次のものがある。「小才は、縁に出会って縁に気づかず。中才は、縁に気づいて縁を生かさず。大才は、袖触れ合う縁をも生かす。」

つまり、知恵の足りない人は幸せな縁に恵まれながら気づかず、例えば自分に過ぎたる夫、妻、家族ながら不足に思い、不平不満の日々を送る人。凡人とは、恵みに気付きながらも当り前の事として喜びや感謝がない人。優れた人とはほんの些細な触れ合いをも大きく喜び感謝し、その恩に報いようと努力する人と申せよう。

「ようぼく成人講座」開催予定(11月分)  
 一関4日(月)磐井分13時 [講師 高橋邦和]  
 一戸17日(日)北福岡分13時 [講師 大内もとよ]

#### 訃報

後藤 順夫 [88歳]  
 奥州支部・陸中分教会3代会長  
 令和元年10月21日出直された。

#### 行事予定

【11月分】

- 1日 少年会例会(12時)
- 2日 女子青年大会団体(4日)
- 2日 主事会(9時) 役員会議(10時)
- 10日 雅楽初心者講習会(9時半)
- 13日 婦人会例会(10時半)
- 13日 学生担当委員会例会(19時)
- 14日 災救援支部幹部研修会(12時)
- 16日 第12回陽気フォーラム(10時)
- 17日 青年会例会(18時)
- 17日 女子青年例会(10時)
- 30日 第37回教区学生会総会(11時)
- 12月1日 「まなびば」(12時) 12月1日 第46回岩手教区団総会(10時)



### 災 救 隊

#### 台風19号被災地の普代村へ出動



災救隊は、  
 教区災害対策  
 委員会主導の  
 もと、台風19  
 号で大きな被  
 害を被ってい  
 た普代村へ、  
 10月28日と29  
 日に出勤した。  
 27日、教務  
 支庁にて2ト  
 ンダンプに作

業資材を積み込み準備。28日8時半、現地ボラセンに19人が集合した。受付、作業説明後、2隊に分かれて被災の民家2軒の床板はがしと、家屋周辺の泥、一輪車のべ366台分、土嚢袋96袋を搬出した。2日目は、26人が参集し、3隊に分かれて同様の作業に加え、床下からの泥出

し、床板取り付け、畳等家財の搬入を行った。泥搬出は一輪車32台、土嚢袋630袋に及んだ。

ボランティアが減少する土、日曜後の2日間出動で、現地社協スタッフには大いに歓迎され、また作業面でも期待された。解散後、社協の女性スタッフに「ひのきしんの意味は？」と尋ねられ、残っていた10人ほどの職員に、教祖の教えをお伝えする機会を与えて頂いた。

なお、本日出動に先立つ21日、九戸支部18人が駆けつけ、家財家具類の搬出、泥出し作業に汗を流し、当日夕方のテレビ岩手のニュースにその様子が放映された。

全期間を通し怪我や事故無く、お与え頂いた現場の復旧に真実を尽くさせて頂いたことは有り難い限りでした。



#### 「庭木剪定ひのきしん」

実施さる

10月15日と16日の両日、教務支庁にて「庭木剪定ひのきしん」を実施、支部班長、隊員ら8人が参加した。

10時に集合、参拝の後、教務支庁の家庭、裏庭内の全ての植木の剪定を各隊員の特技を生かして精一杯勤めた。夜は、来年度の活動計画及び必要資材購入の件等について会議をもった。翌16日も作業を続け、午後3時まで完了し、解散となった。

なお、これに先立ち、盛岡支部の有志が除草ひのきしんを行い、環境整備に尽力した。

#### 支部幹部研修会

・日 時 11月14日(木) 12時集合  
 ・内 容 昼食後教務支庁内外清掃、懇親会  
 ・御 供 千円



#### 「第12回陽気フォーラム」

【11月16日】

今回の陽気フォーラムは、不登校問題に取り組まれる講師をお招きして、「不登校対応と子育て」をテーマに開催します。テーマに「子育て」を入れて下さい、という講師の要望ですので、思いが詰まった内容のフォーラムになると思います。どうぞ多くの方の御参集をお願いします。

記

日 時 11月16日(土) 10時～14時  
 会 場 教務支庁  
 講 師 佐々木剛夫先生  
 (由利道分教会長・NPO法人  
 グレープネットゆり代表)  
 テーマ 「不登校対応と子育て」  
 参加費 千円(昼食代含む)

#### 雅楽初心者講習会

・日 時 11月10日(日) 10時開始  
 ・場 所 教務支庁  
 ・御 供 500円(昼食代として)



### 少年会

#### 「第46回岩手教区団総会」

【12月1日】

岩手教区団総会も、皆様方のお力添えのお陰により、数えて第46回を迎えるにいたりしました。

本年も左記のように、おあずかりする少年会員が将来立派なようばくに育つよう、総会をつとめさせていただきます。つきましては、ご多用のところとは存じますが、少年会員と共にご参加くださり、おつとめを勤める勇んだ姿をご覧くださいますようお願い申し上げます。

記

日 時 12月1日(日) 10時  
 会 場 教務支庁  
 内 容 祭儀式、おつとめ、式典、アトラクション

※本年も昼食を準備させていただきます。準備の都合上、参加者数を11月20日までに支部育成委員長へご連絡ください。



### 学生担当委員会

#### 「第37回教区学生会総会」

【11月30日】

教区学生会(高野慎司委員長)では、左記の通り「第37回岩手教区学生会総会」を開催します。お道に、そして岩手につながる学生お互いが、日々歩む上での心の置きどころを確認する大切な総会です。また、総会終了後は、高校生の集い「まなびば」に参加します。一人でも多くの学生さんが集えるようお力添えの程、よろしくお願いいたします。

記

日 時 11月30日(土) 11時～12時  
 場 所 岩手山青少年交流の家

#### 「高校生の集い・まなびば」

【11月30日～12月1日】

日 時 11月30日12時～12月1日8時半  
 場 所 岩手山青少年交流の家  
 参加費 500円